



## 店舗改装や新サービス提供に向けた設備機器導入、販売PRなどに使える**持続化補助金**を活用しませんか?!

ものづくり補助金に関する解説もさせていただきます。

### 3月7日「計画セミナー」

19時～ 商工会館

- \***持続化補助金**の活用事例や計画書のつくり方を解説させていただきます。
- \***ものづくり補助金**の解説。

### 3月8日「個別相談会」

商工会館（個別時間割を設定）

計画書を作成するにあたって専門家と面談しながら、いま考えておられる計画を具体化していただきます。

## ■ 持続化補助金

≪申請締切 4月28日（金）≫

- 【1】持続化補助金の予算は昨年比較で50%以下となっており、道内各地の商工会等を通じ申請される可能性が高いため、2次申請はないものと予測されます。**この機会を逃がさないで計画**しましょう。
- 【2】交付決定（候補者の決定）は**7月上旬予定**となります。新規申請の事業者を配慮する（中小企業庁通知文）旨のコメントがございますが、昨年申請された事業者皆様も計画づくりをしてください。

### 1. 補助事業の対象となる方

- ①事業を営む商工事業者（会社及び個人事業主）で、常時使用する従業員数が**20人以下**の事業者
  - ②卸売業・小売業・サービス業（宿泊・娯楽業除く）に属する事業を主たる事業として営む場合は**5人以下**
- \*パートタイマーは、労働時間状況（要相談）にて人数に含まれません。

▶申請にあたっては、以下の書類添付が要件とされます。

- ①商工会の支援を受けた経営計画書
  - ②商工会が作成する事業支援計画書
- } 個別相談会の際、説明させていただきます。

### 2. 補助の内容

- ①小規模事業者が商工会と一体となって販路開拓に取り組む費用の2/3を補助（補助上限額50万円）
- ②複数の事業者が連携した共同事業に取り組む費用の2/3補助（補助上限額500万円）
- ③雇用の増加・従業員の処遇改善や移動販売による買い物弱者対策費用の2/3補助（補助上限額100万円）

### ▶補助経費例

①今回の事業宣伝用のチラシ15万円 + ②新たな顧客獲得に要する機械装置45万円 = 補助対象経費60万円  
補助対象経費60万円 × 2/3補助 = 補助金40万円

## ■ ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金

革新的（\*1）な設備投資やサービス・試作品の開発、精算・業務のプロセスの改善を支援する補助金です。

\*1 = 国内外のニーズに対応したサービスやモノづくり、業務の改善・生産性の向上につながる計画が必要となります。（\*タブレット端末を活用し顧客情報管理、多言語対応アプリ、wi-fi等を導入し、顧客との対話・サービス向上に繋げた旅館業・飲食店等も申請しております。）

## ≪申請締切 4月13日（当日消印有効）≫

### ≪補助内容≫

	【革新的サービス】	【ものづくり技術】
一般型	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 補助上限 1,000万円（補助率2/3）</li> <li>■ 設備投資が必要</li> <li>■ 補助対象経費（機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費）</li> </ul>	
小規模型	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 補助上限 500万円（補助率2/3）</li> <li>■ 設備投資が可能（必須ではありません）</li> <li>■ 補助対象経費（一般型に加え、原材料費、外注加工費、クラウド利用費、知的財産権関連費）</li> </ul>	

\*高度生産性向上型 ■ 補助上限 3,000万円（補助率2/3）

## 地域ブランディングセミナーを開催

(株)ノウハウバンク 三科公孝氏を招いて、地域の活性化に向けた検討を始める。

2月16日（火）夜7時から講習会が行われ、会員と役場や農協、銀行職員の方21名が参加されました。地域ブランディングとは、地域の資源（食材資源や観光資源）を有効に活用し、「新たな特産物を開発し地域産物の販売力を高めたり、観光素材の有効な活用や体験プログラムをつくり交流人口を数倍に高める」等、直接消費や地域での雇用創出を波及させる地方創生（地域づくり）の一環として行われております。



当日は、鹿児島県いちき串木野市のマグロラーメン開発ストーリー、群馬県川場村の環境王国宣言！等の事例が紹介されました。



### いちき串木野市の開発ストーリー

九州のラーメンと言えば「とんこつラーメン」と誰しもがイメージし、まぐろラーメンを真剣に取り組むことは考えられなかった。（地域資源の長所を生かし、基幹産業である水産業の復興と地域経済に貢献できた事例）

市の観光協会と飲食組合 ⇒ **マグロラーメンの試作の道のり**がはじまる。

↓

遂に完成！そして「マグロ祭り」を開催した結果（人口24,000人の街に3日間で10万人来訪）

↓

月に10,000食販売（さらに、翌月には17,000食となる）

↓

通信販売開始（JR九州など）

↓

26年ぶりに「マグロの水揚げ」を再開し、**漁船の数、日本一**となる。



### 群馬県川場村の場合

この村では、自然しかないといういいかたをやめ、『**自然だけがある**』をスローガンとして取り組む。長所の伸展方法として計画=その1：**環境王国を宣言**（国の多自然町村に認定）

その2：環境王国で育った金賞受賞米や自然を活用

その3：環境王国の産物が楽しめる「道の駅づくり」

**2013年度の来場者が120万人**となる。

その4：おにぎりの販売（おにぎり単品で年商2,500万）

7年連続金賞を受賞した『雪ほたか』

や自然を地域資源とした例

\*ビジターセンターでの体験プログラムが豊富

地域資源の活用方法として「2番煎じ戦略」ではなく、地域の長所を最大限検討して、余所ではどこもやっていない資源の活用方法や地域の経済を循環させる思い、活動グループの育成が重要な課題とされた。また、正しいマーケティング戦略を立て実施していくポイントや必要性について説明がなされた。

## 商工会月刊ダイアリー 3月

7～8日 持続化補助金活用セミナー/個別相談会

9日 総務企画委員会

10日 青年部マージャン大会

商工会館

商工会館

商工会館